

製造業 取組事例①

(年休取得促進/社員数約60名)

取組の背景：

担当する業務の違いにより、従業員間で年次有給休暇の取得率に大きな偏りがあることに、経営側が問題意識を抱いていた。

多忙な従業員のワーク・ライフ・バランス実現のための配慮を行うとともに、従業員全体のメリハリの効いた働き方を促進し、会社に対する満足度の底上げを図りたいという意識を持って、働き方改革に着手した。

取組の概要：

【取組Ⅰ】年次有給休暇の積立制度の導入

未消化の年次有給休暇を有効活用し、従業員の労働福祉を向上させることを目的に、時効により消滅する年次有給休暇を積み立てる制度を導入した。同制度の導入により、年休取得率（50%）の向上に直接影響しないものの、これまで年休を取得できなかった従業員の救済制度として、また、年次有給休暇の認知度アップのきっかけとして、本制度が機能することを期待している。

制度の概要は、以下のとおり。

(積立日数の上限) 年間10日 総日数は30日まで

- (利用目的)
- ①私傷病により休業した場合
 - ②自己啓発を行う場合
 - ③その他本人が申請し、会社が許可した場合

今後の取組：

年次有給休暇積立制度が定着し、年次有給休暇取得の意識が高まったところで、取得率をあげるために年次有給休暇の時間単位付与制度の導入を予定している。